

令和3年11月15日  
(2021年)

保護者の皆さまへ

吹田市立南山田小学校  
校長 江下 毅

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果の分析について

本年4月、6年生を対象として「令和3年度 全国学力・学習状況調査」を実施し、9月中旬には個人ごとに結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

### 『令和3年度 全国学力・学習状況調査』とは・・・

#### ①教科に関する調査(国語・算数)

・両教科において、以下の(ア)(イ)を一体的に出題。

(ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

(イ)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

#### ②生活習慣や学習環境等に関する調査(質問紙調査)

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアンケート調査です。

本調査は小学校最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数と理科に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを先ず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に取り組むことが調査本来のねらいであると考えます。

学校としましては、調査結果を客観的且つ組織的に分析することにより、どのような指導がより効果的であるかをしっかりと見極め、学校全体あるいは小・中学校における連続した取り組みとなるよう、具体的な指導方法の工夫改善を図ってまいります。

ご家庭におかれましても、以下の分析結果を今後の家庭学習の指針としてご理解のうえ、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### I. 教科に関する調査

#### 概要

**国語** ◎平均正答率が全国値を上回っています



**算数** ◎平均正答率が全国値を上回っています



◎国語・算数とも、結果分布は正答数の多い側に分布していました。各領域等の分析により、成果と課題、今後の改善策をまとめました。

## 成果と課題、今後の改善策

### 国語

#### 成果

##### 話すこと・聞くこと

目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考慮ことや資料を用いた目的を理解することの正答率が全国値を上回っています。

##### 書くこと

自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考慮することの正答率が全国値を上回っています。

##### 読むこと

文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することの正答率が全国値を上回っています。

#### 課題

##### 書くこと

目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することの正答率が全国値を下回っています。

##### 言語

文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることので正答率が全国値を下回っています。



#### 改善策

- ・書く前に見直しを持たせたり、書き方の手本となる定型文を示したりなどの手立てを取り入れていきます。
- ・自分が書くために、資料等の中から、何を選んでどうまとめるのかを意識して書く機会を増やしていきます。
- ・平素の授業から、既習の文法事項を活用できる場面を取り入れていきます。(作文や日記等)
- ・授業改善の一つとして、一年生から六年生まで積み上げてきた文法事項を意識して言語活動を行っていきます。

### 算数

#### 成果

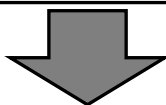
すべての問題で平均正答率が全国値を上回っています。

記述式の全ての問題において、無回答率が全国値を下回っています。また、いくつかの記述式問題では、正答率が全国値を大幅に上回っています。

普段の授業で自分の考えや振り返りを書く取り組みを継続してきたことが、このような結果につながっていると考えています。

#### 課題

- ・小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適応して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する問題の正答率がわずかに全国値を下回っています。
- ・短答式の問題(1問)で無回答率が全国値を上回っています。



#### 改善策

- ・問題を解く際に、操作だけでなく意味も理解できるようにしていきます。そのために、図を使うことやわかりやすい数字に置き換えて考えるなど、自分で考えや理由を説明する機会を設けます。
- ・単元のまとめなどで様々な活用問題を取り入れ、まず「やってみよう」という気持ちを大事にしながら解き方を学んでいく授業づくりをしていきます。

## Ⅱ. 学習意欲や学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査の傾向

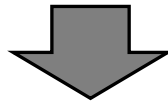
### 学習環境・生活環境について

#### 成果

- ・「自分にはよいところがある」「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしていますか」の項目で全国値よりも上回っています。
- ・「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」という項目で、全国値よりも上回っています。
- ・「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」の項目で全国値よりも上回っています。

#### 課題

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」という項目で全国値を下回っています。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という項目で全国値を下回っています。



#### 改善策

- ・授業の中で、職業の就き方や必要な資格などを学習する機会を設けることや、学級で取り組みたい目標を継続的に振り返るようにし、意欲的に取り組むことができる学級づくりに取り組みます。
- ・新聞作りやノートを使って単元まとめをしたり、その日学習した内容を家庭学習で反復できるような課題を設定したりします。また、効率よく学習するための方法を考える授業を取り入れていきます。

### 教科・学習について

#### 成果

- ・「各教科で学んだことを生かし、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っている」「学習内容のわかった点、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげる」と答えた児童の数は全国値を上回っています。
- ・「学級での話し合いについて、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」「話し合い活動を通して、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」という項目で全国値を上回っています。
- ・「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり、質問したりしていますか」「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもちたり、自分の考えを広げたりしていますか」という項目で全国値を上回っています。

#### 課題

- ・「国語が好き」「国語の授業の内容がよくわかる」の項目で全国値を下回っています。
- ・「英語が好き」の項目で全国値を下回っています。



#### 改善策

- ・国語科を通して、単元ごとになぜこの学習をするのかの目的意識や、つけたい力、学習したことを生かす課題設定を立て、学ぶ意欲を引き出す授業づくりを取り組んでいきます。
- ・外国語活動を通して異文化を学習したり体験したりする国際理解の取り組みを大切にすることに加え、日常の会話や英単語の書き取りなどの学習を、ゲームを交えて取り組んでいきます。

### Ⅲ. 南山田小学校として、今後、取り組んでいきたいこと

#### 学校教育目標

#### 心を磨き、志を育む ～その根を培う～

##### ① 自ら学び考える 【意欲的・主体的に学ぶ子ども】

自分の考えや思いを実現できる場面を、授業や学校生活において設定する。また、疑問に感じる場面設定を行い、調べたい、試したいという「学びに向かう力」を発揮し、施行錯誤する姿を積極的に評価し、あきらめず繰り返し挑戦できる子どもを目指します。

##### ② なかまを思いやる 【違いを認め合い、豊かな人間関係を築く子ども】

学級の友だちと、話し合い活動を通して、自分の考えを伝え合うことができている。今後は、自分の考えを深めたり広げたりするとともに、さらに、自分とは異なる意見に対して考え、議論する機会を積極的に設け、違いを豊かにする授業・学級づくりを行います。

##### ③ 自分を大切にす 【自尊感情と豊かな感性を持ち、たくましく生きる子ども】

##### ④ こころ豊かなみな小っこ 【進んで協力し、実行力のある子ども】

「自分には良いところがある」と実感を持てるよう、授業だけでなく家庭も含めての日常生活の中で、自己有用感を感じ、他者との間で「自分が価値ある存在である」と実感できるような機会を、授業や様々な活動に位置付ける。



#### 研究主題

#### 自ら考え、紡ぎあい、深い学びへつながる授業作り

南山田小学校では、上記のような研究主題を設定し、国語科の物語文を中心に研究を進めています。今年度で、3年目となります。研究を通して子どもたちにつけてほしい力は、「子どもたち同士で、考えや意見を紡ぎ合う力」です。今回の学力テストの学習環境・生活環境のアンケートの「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」という項目では、全国値を上回ることができました。3年間の取り組みの中で、教師指導の授業ではなく、子どもたち同士がつながり、主体的・対話的に学べる授業づくりが意識できた一つの成果であると考えます。さらに、「読むこと」の構成を捉える問題でも、全国値を上回ることができました。3年間の国語科を軸においた研究が子どもたちの読む力へ結びついたと考えます。

一方で、書くことにおいては、課題が残る結果となっています。主に、自分の考えを工夫して「表現する力」です。国語の単元の中で、読んだことを他者に伝えるための言語活動を設定すること。また、「読む→書く」を意識した単元構成の工夫が必要になってくると考えます。今後の取り組みとして、国語科という教科だけではなく、自分の考えや意見を工夫して伝える力、表現する力を子どもたちに身につけさせるために、日々の授業改善を行っていきます。

#### ★ ご家庭にご協力いただきたいこと ★

今回の調査で、就寝・起床時刻を守ったり朝食を毎日しっかりと食べたりの規則正しい生活については、ご家庭で意識していただいていることがわかりました。今後も引き続き、子どもたちが落ち着いた生活を送るために、基本的な生活習慣について、ご協力よろしくお願いします。

また、家族でいろいろなことを話題に会話をたくさんしていただきたいです。例えば、学校で学習してきた内容に対し、「それはどんな内容だった？」と説明してもらったり、「そこでどんなことわかった？」など聞いてもらうことすることも、子どもの思考力を高めることにつながっていきます。そして、地域の行事等に参加して、たくさんの人と触れ合う機会をもっていただけたらと思います。